



エレクトロニクスで社会に貢献する

ROHM

企業目的

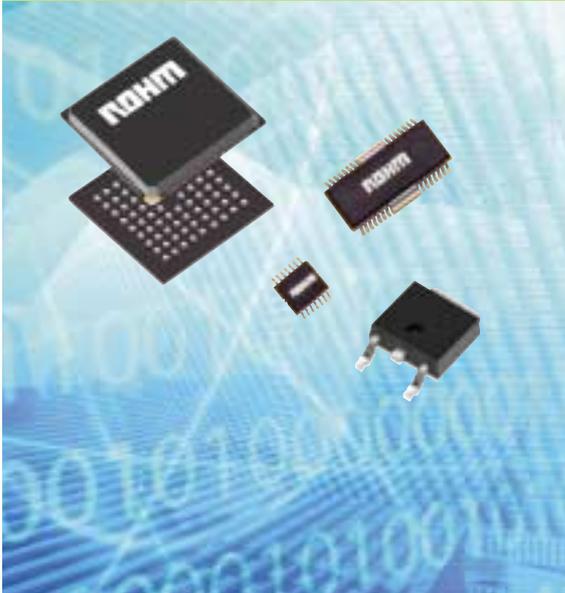
われわれは、つねに品質を第一とする。
いかなる困難があろうとも、良い商品を国の内外へ永続かつ大量に
供給し、文化の進歩向上に貢献することを目的とする。

経営基本方針

社内一体となって、品質保証活動の徹底化を図り、適正な利潤を確保する。
世界をリードする商品をつくるために、あらゆる部門の固有技術を
高め、もって企業の発展を期する。
健全かつ安定な生活を確保し、豊かな人間性と知性をみがき、もって
社会に貢献する。
広く有能なる人材を求め、育成し、企業の恒久的な繁栄の礎とする。

ロームのマネジメント体制 コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスが有効に機能することが求められるなか、当社では、公正な経営システムを維持することを最優先としております。



ガバナンス体制

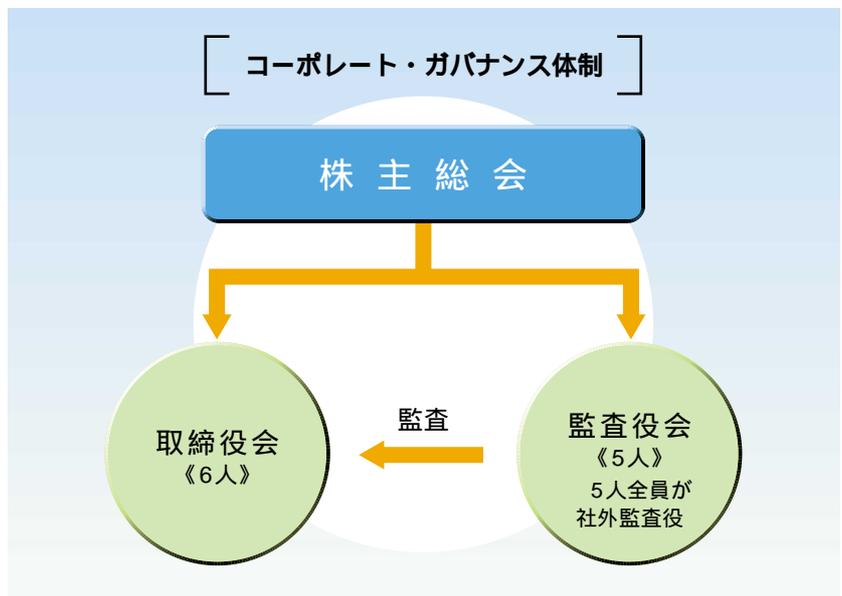
当社では、迅速な意思決定を重視したガバナンス体制を構築するため、取締役会が十分な議論のうえに的確かつ迅速な意思決定を行うことができるよう、取締役を6名の少人数に絞り適正な規模を維持するとともに、構成員である各取締役が各々の判断で意見を述べられる独立性を確保し、その効果を得てきました。

また、経営の透明性・客観性を確保するため、監査役会は、5名の監査役全員を社外監査役で構成し、取締役会その他重要な会議への出席や、業務及び財産の状況の調査を通じて、取締役の業務執行に対する監査を行うとともに、社内に専属の内部監査部門を設

置するなど、監査機能の充実・強化を図っております。さらに、機関投資家等への説明会の開催や、インターネットを通じた財務情報の提供を行うなど、積極的に幅広い情報開示に努めております。

リスク管理体制

当社では、リスクの内容に応じて個別の組織において適時適切に対応することを基本として、より専門性の高い各種委員会を設置して対応するなど、リスクの発生を未然に防止又は最小限にとどめるよう努めております。



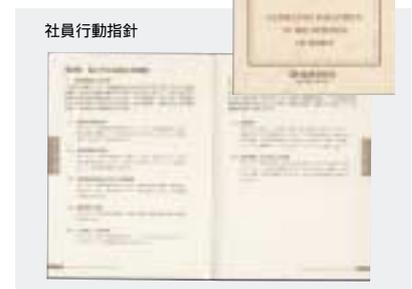
コンプライアンス

法令と企業倫理の遵守

私たちは、常に法令はもちろん、ビジネスルールとも言うべき企業倫理を遵守して、業務を遂行します。国の内外を問わず、業務のあらゆる場面で、法令と企業倫理を遵守することは、会社が社会を構成する一員である以上、会社存立の大前提であるとともに、経営の根幹をなします。私たちは、法令と企業倫理の遵守を通じて、社会から信頼される存在であり続けるよう努めます。

「社員行動指針」の配布

「企業目的」「経営基本方針」などの経営理念に加え、ローム社員の倫理上の基本ルールとして1999年、「社員行動指針」を制定しました。全社員に向けて配布しているこの小冊子がロームの企業倫理の規範となっています。



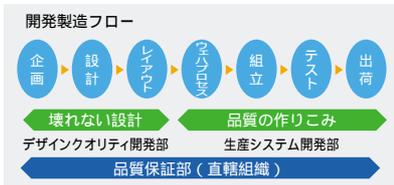


事業活動における社会性

壊れない設計と製品づくり

微細なプロセスで作られる半導体は、一般に壊れやすいものです。ロームは、この常識を覆すことが、最もお客様に信頼されると考え事業活動を進めています。

具体的な組織としては、LSI商品開発本部の中にデザインオリエティ開発部を設置しています。デザインオリエティ開発部の活動は、設計品質の確保はもとより、過酷な条件下で使用しても破壊しない保護回路の導入促進など多岐にわたっています。また、生産システム開発部における自社開発の生産装置では、「装置に品質を作りこむ」を合言葉に、製造上間違いようが無い製造装置の開発を実践することで、お客様の期待以上の品質を徹底しています。



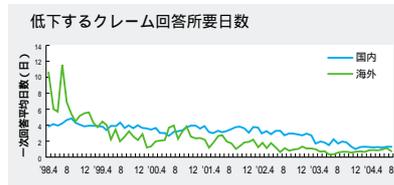
24時間以内にクレーム回答

製品不具合が発生した場合は、すばやい対応と回答が最善の顧客サービスと考えています。ロームでは、24時間以内にお客様にクレーム回答を実施することを目標として決め実行しています。そのため、世界の需要地に各種解析装置を設置したQAセンターを設け、迅速に解析の回答を行っています。



QAセンターの解析装置

QAセンターは、京都、横浜、サンディエゴ、デュッセルドルフ、上海、香港、台北、シンガポールの世界8ヶ所に設置しています。



取引先との共生

ロームでは、各種資材を購入する取引先との共生も事業活動の中核と位置づけています。電機業界全体で取り組まなければならない環境問題では、グリーン購買基準を明確にし、取引先のレベルアップ目標を明確化し共通の目標に取り組む姿勢を示しています。

また、2004年4月に施行された「下請法」の改正にも社員向けに解りやすい遵守マニュアルを制作し勉強会を実施、社員に徹底を図っています。

独自制作の下請法遵守マニュアル



社会へ還元活動

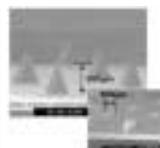
積極的な産学連携

ロームの研究開発本部は、新しい社会に有用な技術を開発することが文化の進歩向上に資するものと考え常に新技術開発に邁進しています。近年の成果では、肝機能の在宅検査に有用なバイオチップの開発に独立行政法人 物質・材料研究機構との共同で成功するなど、医療の分野にも役立つバイオエレクトロニクス分野の研究を開始いたしました。

また、開発においては、独自の技術に固執することなく、国の研究機関、大学、異分野企業などと積極的に広く連携し、それぞれの得意分野を有効に活用することで、すばやく社会に還元できるように努めています。



肝機能検査用バイオチップ



ローム記念館プロジェクト

産学連携をより深く進める為に、さらに積極的なプロジェクトを地元京都の主要3大学

である、立命館大学、同志社大学、京都大学の敷地に「ローム記念館」の建設・寄贈というかたちで具現化を図っています。

ローム記念館は、2000年にオープンした立命館大学を皮切りに、2003年に同志社大学をオープンしました。そして、来る2005年には、京都大学のオープンを控えています。

ローム記念館では、運営は全て大学側にまかされており日本の技術を進歩させる為の充実した教育と産学共同のプロジェクトが開始され活動が始まっています。



同志社大学ローム記念館



立命館大学ローム記念館



京都大学ローム記念館完成予想図

地域社会との共生

地域社会の環境整備

ローム本社敷地は、京都市の中心部にあり京都市民と共に生きています。地域社会ともそのような考えから発展し、全国の各事業所単位においてもそれぞれの身の丈にあった活動から展開をはじめています。

本社地域においては、本社前の道路の歩道整備、夜間には、暗く不安全であった周辺の児童公園内に水銀灯、及び時計台、植樹の寄贈。歩道の無かった周辺道路には、カラー舗装の歩道の整備を実施しました。さらに、その維持の為に除草などの支援も行っています。

また、本社の外周にも木々や季節の草花を植え、無機質になりがちな都市内の事業所に、憩いの空間を設けています。



本社周辺の植樹



増設された水銀灯により夜も明るくなりました。

社会福祉や事業支援

事業支援としては、2003年度より始まった学生の街京都を象徴する「京都学生祭典」の支援、「京都国際音楽学生フェスティバル」「京都シティハーフマラソン」の支援を継続的に行っています。

福祉分野の支援は、まだまだ、緒についたばかりですが、2002年に京都市内100ヶ所の「特別養護老人ホーム」に温熱・電位治療機を寄贈しました。これからも出来る範囲での支援拡大を目指してまいります。

従業員と共同での地域参加

地域ボランティア活動

ロームでは、地域との共生を従業員と共に行うことも重要と考え、楽しくかつ有効な貢献を実施しています。

実際の実施については、各種の形態が有りますが、本社で実施している御室・天神川を美しくする企業協議会へのボランティア参加、行橋市花いっぱい運動へのボランティア参加など、地域共催の事業への参加形態。ローム甘木での、筑後川沿いの約100kmにわたる河川美化運動への従業員の自主発生的な参加、ローム福岡から国道までの市道約1kmの従業員の参加協力を募った定期的な除草作業など様々なかたちで活動を展開しています。



行橋市花いっぱい運動への参加と定期的手入れ



ローム福岡前市道1kmの除草作業



京都御室・天神川の河川美化運動



ローム甘木従業員参加の筑後川の河川美化運動

全員参加でゴミの分別回収

意外と出来そうで出来ないのがゴミの分別回収。従業員の個々の意識と参加が無くては達成できないものです。

ロームでは、社員全員参加で、本社での一般ゴミの極小化をねらい、社内で発生するゴミの分別回収を徹底しています。



京都本社ゴミの分別回収場

積極的な健康づくり活動

明るく楽しく健康づくり

ロームは、1998年に全社禁煙を宣言することができました。これは、社内の健康づくり委員会が、社内喫煙者に自主参加の禁煙マラソンを(42日完走?者には、テレホンカード)実施したり、健康被害の啓蒙を行ったりして、1992年から6年がかりで達成したものです。社員参加での禁煙活動には、色々かつらいこともあったようですが、非喫煙者



従業員による禁煙キャンペーンポスター

による副流煙の問題提起のポスターには、喫煙者も納得の様子でした。1998年には、全員さわやかな達成感がありました。さらには、社員のご家族がご家庭で大変喜んだという、うれしいおまけもありました。

歩こう会

2004年で、13年目26回を迎えた歩こう会も健康づくりでは、重要な行事です。この歩こう会は、運動不足になりがちな現代人に歩く機会をということで、気候の良い春と秋に社員とご家族を対象に毎回百人を超える参加者を集め実施しています。ゴールイン後には、会社から弁当とお茶、食事後には、社員ボランティアによるゲーム大会やビンゴゲームなど家族ぐるみで楽しめるように工夫を



昼食後の楽しいイベント

一緒に無理なく汗を流そう

凝らして従業員とともに楽しむ手作り行事に育てました。また、1万歩チャレンジ運動を毎年開催、こちらも、東海道完走チャレンジなど、日々の積み重ねが楽しくなるような工夫を凝らしています。

従業員との共催イベントなども実施していますが、基本的なところでは、従業員の健康診断受診率100%を十年以上達成し、労働衛生・安全面での従業員に対する配慮も積極的に実施しています。

安全意識の向上

安全意識の向上は、社長直轄の中央安全衛生委員会が、全社の安全衛生活動を組織するとともに、各種訓練、安全啓蒙、社会活動を展開しています。



消火器を实际に使って体験訓練



京都市に寄贈された起震車ローム号



自衛消防隊大会で活躍

文化支援活動

若手音楽家の育成支援活動

ロームでは、音楽を志す若い音楽家達の育成のためには、コンクールを開くのでなく一流の講師陣による指導が重要との考えで、毎年次世代を担う音楽家を集め音楽セミナーを定期開催し成長を支援しています。



一流の講師陣による音楽セミナーは、若い音楽家に大きな成長の機会を与えています。

文化事業支援活動

文化支援活動としては、当社の社風に会う分野を特定して継続的な支援を展開しています。音楽では、良質な音楽を聴く機会を提供するため各種の音楽イベントを主催・共催をしています。大きな世界的イベントから、岡山での明治大学マンドリンクラブのコンサートまで幅広く支援しています。

スポーツでも大きなマラソンイベントから、社員も多数参加する京都シティハーフマラソンなどの市民マラソン、そして、地域のリトルリーグの協賛まで幅広く音楽とスポーツ文化支援に特化した協賛活動を行っています。

ローム株式会社

本社 / 〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
TEL (075)311-2121 FAX (075)315-0172
URL <http://www.rohm.co.jp>

R100 PRINTED WITH SOY INK

古紙配合率100%の再生紙を使用しています。
大豆油インキを使用しています。